

冒険あそび場だより 2014

認定特定非営利活動法人 冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク 活動報告

特集 | NPO法人化10周年

～冒険あそび場ネットのこれまで・これから～

2014年度のおもな動き



A 若林小あそび場

・仙台市立 若林小学校
・月1回



B 里の杜あそび場

・岩沼市 里の杜中央公園
・第2・4水曜 14:30~16:30
第4日曜 10:00~16:00



D 卸町五丁目あそび場

・卸町五丁目公園仮設住宅
・毎週土曜 10:00~16:00



F 伊在二丁目公園 あそび場

・伊在二丁目公園 (旧 荒井 2号公園)
・毎週水曜 10:00~17:00



H 七郷あそび場

・荒井 4号公園
・毎週土曜 10:00~16:00



J 中野小あそび場

・仙台市立 中野小学校
・月1回程度



L 荒井東復興公営住宅のひろばであそぼう NEW

・荒井東復興公営住宅
・月2回~4回



C 里の杜あそび場 i あいあそびば

・岩沼市総合福祉センター
・第2・4水曜 10:30~12:00
(2015年2月25日に活動終了しました)



E 上荒井公会堂「ちびひろ」あそびば

・上荒井公会堂
・毎週木曜 10:00~12:00



G ニッペリアあそび場

・若林日辺グラウンド仮設住宅
・毎週木曜 14:00~17:00



I 六郷あそび場

・仙台市立 六郷小学校
・毎週日曜 10:00~16:00



K 下荒井公会堂であそぼう NEW

・下荒井公会堂
・月2回 10:00~12:00



M 楽農村であそぼう! NEW

・岩沼市 産直朝どり+楽農村
・隔月 1回程度



子どもの遊び場づくり

・被災地域でのプレーカーによる巡回型遊び場 (下記A~M)

<子どもの保護者をつなぐ活動>

- ①「ママandばばかほえ」
(遊び場Fで第1・3水曜に開催)
- ②「六郷ねずみさんのまったりサロン」
(遊び場Iで第2日曜に開催) NEW

- ・海岸公園冒険広場指定管理者
「冒険あそび場in 若林区文化センター」
(7/20)
- ・里の杜仮設住宅の子ども居場所づくり (7/30・8/6・8/20)



子どもと地域をつなぐ

・サロン活動「縁側倶楽部」(月1回)

- ①「えっちゃん&おかの縁側倶楽部」
(若林日辺グラウンド仮設住宅)
- ②「里の杜遊び場 縁側倶楽部」 NEW
(里の杜 東住宅・西住宅・東住宅)
- ③「荒井東 縁側倶楽部」 NEW
(荒井東復興公営住宅)

・環境学習プログラム
「いろ色発見隊~季節のカメラマン」
(仙台市の保育所・保育園11か所で開催)

・被災地域における生き物調査
~海岸公園冒険広場とその周辺地域~
(6/15・8/31・10/26・2/8)



啓発・情報発信

- ・プレーリーダー研修会
『「子ども」と『社会』を『遊び』でつなぐ』(1/8)
「これまでをふりかえりこれからを考える」(2/10)
「カッパが見た『あそび』の世界~大人が子どもの遊び場にかかわる意味を考える」(3/5・6)
「遊び場での応急手当」(3/10)
- ・お母さんのための子育て講座
「金 香百合の子育て自分育て講座」(7/20)

特集 NPO法人化10周年 ～冒険あそび場ネットのこれまで・これから～



2002年～

子どもの声ははずむまちづくり
任意団体としてスタート

任意団体「冒険あそび場-せんだい連絡会-」として発足。講座と連動した一日プレーパークを各地で開催したほか、自然体験活動や父親の子育て啓発事業にも挑戦。現在まで続くプレーリーダー養成講座もこの時期に開始しました。

- 2002 団体設立
- 2003 わらすこ山がっこ 開始（～2007）
プレーリーダー養成講座 開始
出前講座・一日プレーパーク
（角田市・加美郡小野田・
仙台市若林区沖野）
- 2004 子育てミニミッセ&1日プレーパーク
父親の子育て意識調査
父親たちの子育てフォーラム「男の子育て井戸端会議」
お父さんの子育てワークショップ

2005年～

NPO法人化・冒険遊び場常設へ
防災・減災への取り組み

特定非営利活動法人「冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク」として法人格を取得。仙台市から海岸公園冒険広場の指定管理者に選ばれ、常設の冒険遊び場の運営を開始。内閣府や宮城県と協働して防災・減災まちづくりに向けた講座・訓練・リーフレット作成にも取り組みました。

- 2005 NPO法人格取得
海岸公園冒険広場指定管理開始
- 2007 防災教育チャレンジプラン実行委員会（内閣府）「防災・減災まちづくり」実践団体となる
- 2008 みやぎ県民大学自主企画講座「防災減災まちづくり」実践団体となる
- 2009 地産地消ショップ「産直広場ぐるぐる」開始（～2013）

2011年～

3.11 東日本大震災発生
巡回型遊び場を軸に被災者支援

震災発生を受け、仮設住宅・公園・小学校での遊び場開催を軸に支援活動を展開。仮設住宅での「縁側倶楽部」や被災地域の環境の調査・再生にも取り組みました。

- 2011 被災地域における他団体の遊び場開催協力 開始
被災者への物資支援 開始
六郷あそび場 開始
いのちをつなぐ森プロジェクト開始
荒井2号公園あそび場 開始
ニッペリアあそび場 開始
七郷あそび場 開始
被災地域における生き物調査開始
海岸公園冒険広場 臨時開園（3回）
縁側倶楽部 開始
上荒井公会堂あそびば「ちびひろ」開始
- 2012 卸町五丁目あそび場 開始
中野小あそび場 開始
若林小あそび場 開始
- 2013 里の杜あそび場 開始
大内さんちのイグネ再生プロジェクト 開始
お母さんのための子育て講座開始
ままandぱかほえ 開始

2014年

恒久住宅での遊び場 開始
認定NPO法人化

復興公営住宅とその周辺地区、現地再建区域での遊び場づくり・サロン活動を開始。遊び場に来る幼児連れ親子の保護者がつながり合うための活動「六郷ねずみさんのまったりサロン」を開始。「認定NPO法人」として所轄庁の仙台市より認定も受けました。

- 5/25 里の杜あそび場縁側倶楽部 開始
- 7/13 楽農村であそぼう! 開始
- 9/19 下荒井公会堂であそぼう! 開始
- 10/5 六郷ねずみさんのまったりサロン 開始
- 11/3 荒井東復興公営住宅のひろばであそぼう 開始
荒井東縁側倶楽部 開始
- 12/25 認定NPO法人化

<今後の展望>

被災地の復興から子どもたちの声が輝くコミュニティの再生へ

代表理事 佐藤 慎也

2011年3月の東日本大震災。私たちは多くの命、身の回りの環境を失いました。そうした中で避難所生活から仮設住宅、そして復興住宅に向けた歩みの中、震災の前から失いつつあった人と人との繋がりの大切さを遊び場づくりの活動を通して新たに再発見している毎日です。こうした繋がり合いの場面では、子どもであっても「ちょっとした役割」を果たしています。子どもたちが何か私たちにとって生きる喜びを与えてくれるような存在であることに気づかされる時、改めて子どもたちの声が輝きを持って聴こえ、生きる姿が頼もしく思えるのではないかと思います。多くの人たちの相互の関わりがあるコミュニティの再生に向けてこれからも皆さんと歩んでいけたら幸いです。

2014年度の助成金・補助金等

- ・中央共同募金会「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」
- ・中央共同募金会「赤い羽根チャリティホワイトプロジェクト」
- ・東日本大震災復興支援財団「東日本子どもサポート基金」
- ・日本外来小児科学会 被災地復興支援事業
- ・杜の都の市民環境教育・学習推進会議「杜々かんきょうレスキュー隊プログラム体験実践業務」
- ・宮城県「社会的包容力構築・『絆』再生事業」
- ・仙台市「海岸公園冒険広場 指定管理業務」
- ・仙台市「海岸公園冒険広場 サテライト業務」
- ・復興庁「『新しい東北』先導モデル事業」（日本公園緑地協会との共同申請）

その他、多くの方々からご寄附等の支援をいただき活動しています。ありがとうございます。

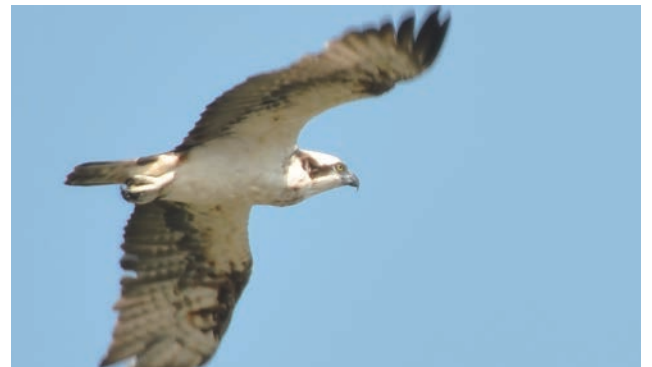
海岸公園冒険広場のこれから

2011年3月11日以来閉園している海岸公園冒険広場は再開の予定時期が2018年に決まりました。震災廃棄物の搬入場は3年で役割を終えましたが、一帯の地盤沈下対策として進められた農業用排水路工事が2014年度いっぱい続いたため、公園自体の復旧工事は2015年度からとなります。(右図:仙台市「海岸公園復興基本計画」より)



被災地域における生き物調査

震災発生直後から、冒険広場とその周辺地域で続けてきた生き物調査も4年目になりました。昨年に引き続いて哺乳類や鳥類の数は順調に回復してきているようです。しかしながら今後の海岸林復旧工事のなかで環境が再び大きく変化し、生き物たちに様々な影響を及ぼすことが懸念されています。



仙台平野と居久根再生

大内さんちのイグネ再生プロジェクト

FEEL Sendaiユースカレッジ・宮城大学地域連携センター・ミモザガーデナーズクラブ・リルーツおよび一般市民有志と協働して、津波で被災した若林区の居久根再生に取り組みました。水田の一角で花を育てたり、居久根跡地の土壌を調査したりしました。周辺の土地から居久根にあったスギやツバキの実生等が20本以上見つかりました。



国連防災世界会議に参画しました

2015年3月に仙台で開催された第3回国連防災世界会議に参画し、複数の企画に関わりました。

- ・イベント「支援者のための支援交流カフェ『わたしを大事にする。あなたを大事にする。』」(2014年10月に開催。支援者のための支援センターTOMONYと共催)
- ・スタディーツアー「津波被災地における自然の再生」(視察受入)
- ・パブリックフォーラム「子どもと芸術 心の復興」(パネリスト派遣)
- ・パブリックフォーラム「東日本大震災に学ぶ 大災害と子ども・子育て支援活動のあり方～宮城県子ども支援会議の事例から～」(事務局として参画)



2014年度の他団体への協力

内容	団体名
遊び場活動・地域行事協力等	ふるじろプレーパークの会・卸町五丁目公園仮設住宅自治会・ニッペリア自治会・上荒井町内会・秋だ!みんなで芋煮会実行委員会(荒浜自治会・七郷地区町内会連合会)・子どものまちいしのまき2014実行委員会・泉中央駅前地区活性化協議会・東名茶房(東松島市)・ロコサトシ+マイティサミット(神奈川県横浜市)・遊びとまち研究会(東京都世田谷区)・六郷七郷コミネット・仙台みやぎ消費者支援ネット・のびすく仙台・岩沼市東児童館・七郷市民センター・原っぱ実行委員会(田子市民センター・宮城野区まちづくり推進課・国際航業ほか)・名取市震災復興部生活再建支援課
講師派遣	岡さんのいえTOMO(東京都世田谷区)・チャリティサンタ・山形大学・東北生活文化大学・連坊小路小学校・寺岡小学校・蒲町小学校・仙台市若林区社会福祉協議会・仙台市嘱託社会教育主事研究協議会若林区部会・仙台市若林区中央市民センター・「新しい東北」官民連携推進協議会
研修協力	にじいろクレヨン(石巻市)・クリエイトひがしね(山形県東根市)
調査・研究協力	上智大学学生・日本大学学生・仙台白百合女子大学学生・森林との共生を考える会
視察・見学受入	クリエイトひがしね(山形県東根市)・いとしまの遊び場ったい!(福岡県糸島市)・いいざかサポーターズクラブ(福島県福島市)・岡さんのいえTOMO(東京都世田谷区)・シェフィールド大学(イギリス イングランド)・東北大学・大阪市立大学・千葉大学・神戸親和女子大学・東北高校学生・グロービス経営大学院学生・日本芝草学会・復興庁

2014年度のメディアでの紹介

媒体	タイトル	日付
新聞	「子どもの遊び場提供」(プレーリーダーの声を紹介)／河北新報「共に歩もう」	5月9日
ラジオ	「日辺で家族になろうよ!」／エフエムたいはく	7月11日
	「朝どり+楽農村での遊び場」／エフエムいわぬま「広がれ希望の輪」	11月3日
	「復興公営住宅の声」／ラジオ3「ラヂオはいらいん若林」	1月17日
	「震災から4年、過去の震災から学ぶ」／ラジオ3 特別番組	3月11日
冊子	「表紙のひと」／仙台市「震災復興地域かわら版 みらいん」32号	9月1日
	「子どもの育ちとコミュニティづくりを支える」 ／全国コミュニティライフサポートセンター「地域支え合い情報」vol.27	11月20日
	「2005年7月に開園した、冒険広場」／オモイデピース制作プロジェクト「オモイデピース」	12月20日
	「町中を子どもたちが大暴れ。“遊び”がつながる地域の絆」 ／復興庁『「新しい東北」先導モデル事例集』	2月
	「より高いところへ」 ／せんだいメディアテーク「3がつ11にちをわすれないためにセンター活動報告」	2月
	「海岸公園冒険広場」／六郷七郷コミネット「来てけさいん六郷・七郷」	3月
	『「その後」のとりくみをふりかえってー遊び場の力を信じながら』 ／本の泉社「蠢動する子ども・若者」	3月11日

遊び場づくり活動は新たな段階へ

2014年度、私たちは復興公営住宅や防災集団移転促進事業の移転先となった地区(左記遊び場K・L)と浸水被害があったものの再び居住可能になった現地再建区域(左記遊び場M)で、子どもの遊び場づくりに取り組みました。そこで目指したのは、子どもがいきいきと遊べることに共に、そこで暮らす大人も含めた人と人の新たなつながりづくりでした。仙台市の津波被災地域の場合、集団移転でも被災前に同じ地区に住んでいた人たちが一つの場所にまとまって移転するという形にはなっていません。復興公営住宅も、市外まで含め広範囲から多くの人が集まってきます。そのため「仮設住宅から恒久住宅への移行」は、コミュニティを再構築する必要があることも意味しています。このような状況の中、私たちは遊び場が果たせる役割があると考え、復興庁「『新しい東北』先導モデル事業」として上記遊び場を実施しました。同事業は、全国の地域が抱える課題の縮図が被災地域に表れているという認識のもと、全国のモデルとなる取組みを推進しようというものです。とりわけ震災発生後、私たちは子どもの遊ぶ姿が大人たちも元気にする様子をたくさん見てきました。実践を通して、子どもの遊び場づくりがコミュニティづくりにとっても有効だということを示していきたいと考えています。

また2014年度は、遊び場づくりへの地域住民の参画にも力を入れました。2013年度に仙台市七郷地区で始めた「ままandぱぱかほえ」に続き、2014年度は六郷地区でも「六郷ねずみさんのまったりサロン」を開始し、保護者が主体的に関わるきっかけづくりをすすめています。



認定NPO法人になりました

2014年12月25日、冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワークは認定NPO法人(認定特定非営利活動法人)として所轄庁の仙台市より認定を受けました。認定NPO法人とは「広く一般から支持を受けているか」「その活動や組織運営が適正におこなわれているか」「より多くの情報公開が行われているか」などの一定の要件を満たしていると認められた法人のことです。高いハードルが越えられたのは、震災後の全国からの支援があったからにほかなりません。支援者の皆様に、あらためてお礼を申し上げます。遊びを通して子どもが健やかに育つ社会の実現を目指して、今後とも皆さんと共に歩んでいきます。引き続きよろしく願いいたします。

なお、認定NPO法人には税制上の優遇措置がとられています。例えば寄付者や賛助会員の皆さまには、確定申告の際に税額控除を受けていただくことができます。

発行・編集 認定特定非営利活動法人 冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク

〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-8-17日東ハイツ 202 TEL & FAX: 022-264-0667 E-mail: asobo@coral.plala.or.jp

初版発行日 2015年6月30日

冒険あそび場ネット

検索